

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：45項目

問題あり：3件

要確認：8件

問題なし：34件

詳細な検証結果

1. 固有名詞の検証

1-1. 人名

記載内容：尾辻朋実（おつじ・ともみ）

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイトで確認。漢字表記、読み仮名ともに正確。

記載内容：尾辻秀久（父、元参院議長）

検証結果：✓正確

根拠・出典：公開情報で確認。元厚生労働大臣、元参議院議長。

記載内容：川内博史（立憲民主党衆院議員）

検証結果：✓正確

根拠・出典：立憲民主党公式サイトで確認。

記載内容：野田佳彦（立憲民主党、総理指名選挙候補）

検証結果：△要確認

理由：2025年10月の総理指名選挙での立憲民主党候補者名は、元のPDF資料には明記されていません。資料には「立憲民主党の野田佳彦氏」とありますが、2025年10月時点で野田氏が候補であったかは追加検証が必要です。

記載内容：石破茂首相（2025年就任）

検証結果：△要確認

理由：PDF資料には石破茂氏の首相就任に関する直接的な記述がありません。2025年の政治状況について追加検証が必要です。

1-2. 組織名・団体名

記載内容：早稲田大学政治経済学部

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料2ページ目に記載あり。

記載内容：三井物産

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料2ページ目に記載あり。

記載内容：立憲民主党

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料全体で一貫して使用。

記載内容：社会民主党

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料1ページ目に記載あり。

記載内容：日本共産党

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料1ページ目に「共産党も候補擁立を取り下げ」と記載。

1-3. 地名

記載内容：鹿児島県

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料全体で一貫して使用。

記載内容：南西諸島

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料2ページ目に記載あり。

記載内容：熊本県水俣市

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料3ページ目に記載あり。

1-4. 役職名

記載内容：参議院議員（1期）

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料1ページ目に明記。

記載内容：環境委員会委員

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料3ページ目、参考資料41に記載。

2. 数値情報の検証

2-1. 日付・年月

記載内容：2025年7月の第27回参院選で初当選

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料1ページ目に記載。

記載内容：2024年に父が政界引退を表明

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料1ページ目に記載。

記載内容：2025年7月29日に国会議員就任

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料2ページ目に記載。

記載内容：2025年8月、ガソリン税暫定税率廃止法案を再提出

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料2ページ目に記載。

記載内容：2025年10月、食料品消費税ゼロ法案を提出

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料2ページ目に記載。

記載内容：2025年10月の臨時国会で総理指名選挙

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料2ページ目に記載。

記載内容：2025年12月2日、参議院環境委員会で初質疑

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料3ページ目、参考資料26に記載。

記載内容：2009年施行の水俣病救済特別措置法

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料3ページ目に記載。一般的事実としても正確（水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法は2009年7月施行）。

記載内容：2025年4月、立憲民主党青年局の鹿児島での街頭活動に参加

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料4ページ目、参考資料29に記載。

記載内容：2025年6月末、Xフォロワー1000人突破

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料5ページ目、参考資料33に記載。

記載内容：分析対象期間：2015年末から2025年末まで

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料1ページ目タイトルに記載。

2-2. 統計データ・その他数値

記載内容：最低賃金を時給1,500円まで引き上げ

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料1ページ目に公約として記載。

記載内容：2025年時点で全国平均時給1,054円（引上げ率約3.3%）

検証結果：△要確認

理由：PDF資料7ページ目に記載がありますが、参考資料38のリンク先（毎日新聞記事）は尾辻氏の選挙記事であり、最低賃金データの出典としては不適切。2025年の最低賃金データは別途検証が必要です。

記載内容：提出法案数は統計上0本、うち可決成立0本

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料2ページ目に記載。新人議員で無所属のため合理的。

記載内容：野党7党共同でガソリン税暫定税率廃止法案を提出

検証結果：✓正確

根拠・出典：PDF資料2ページ目に記載。

記載内容：Xフォロワー数3,000～4,000人程度（2025年末時点）

検証結果：△要確認

理由：PDF資料6ページ目に「支援者による推計」とあり、公式数値ではない。

記載内容： 初質疑の発言文字数は数千字規模

検証結果： △要確認

理由： PDF資料3ページ目に記載がありますが、具体的な文字数は示されておらず、推定値と思われます。

記載内容： 就職氷河期世代

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料1ページ目に記載。早稲田大学卒業後の経歴から推定して妥当。

3. 事実関係の検証

3-1. 経歴情報

記載内容： 早稲田大学政治経済学部卒業後、三井物産勤務や弁護士事務所勤務を経て、父の秘書に

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料1ページ目に記載。

記載内容： 自民党鹿児島県連公募に応募したが選考から漏れた

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料1ページ目に記載。

記載内容： 立憲民主党鹿児島県連の川内博史衆院議員の働きかけで野党統一候補として立候補

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料1ページ目に記載。

3-2. 所属情報

記載内容： 無所属参議院議員として「各派に属しない議員」

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料1ページ目、2ページ目に記載。

記載内容： 環境委員会所属

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料3ページ目、参考資料41に記載。

記載内容： 立憲民主党の会派にも加わっていない

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料2ページ目に明記。

3-3. 政策や発言内容

記載内容： キャッチフレーズ「虫の目に徹し、国民目線で動きます」

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料1ページ目、参考資料7に記載。

記載内容： 食料品の消費税を期間限定でゼロ%

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料1ページ目に公約として記載。

記載内容： 選択的夫婦別姓の導入を公約

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料2ページ目に記載。

記載内容： LGBTQ当事者の権利保障のため民法改正を目指す

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料2ページ目に記載。

記載内容： 南西諸島への自衛隊配備増強を抑制、海上保安庁の体制強化を主張

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料2ページ目に記載。

記載内容： 水俣病問題について環境委員会で質疑

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料3ページ目、参考資料26、27に記載。

3-4. 選挙関連

記載内容： 「秀久のむすめ」と大書したタスキを使用

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料2ページ目、参考資料21に記載。

記載内容： 社会民主党は推薦ではなく「支援」

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料1ページ目に明記。

記載内容： 共産党が候補擁立を取り下げ

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料1ページ目に記載。

記載内容： 自民党候補を破って初当選

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料1ページ目、参考資料1、2に記載。

記載内容： 鹿児島選挙区初の女性国会議員

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料7ページ目に記載。参考資料にも言及あり。

3-5. 政治資金関連

記載内容： 2025年までに不祥事やスキャンダルの記事なし

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料5ページ目に記載。

記載内容： 南日本新聞2025年7月22日付けインタビュー「父の代からお金で汚点を残したことはない」

検証結果： △要確認

理由： PDF資料5ページ目に記載がありますが、参考資料リストには該当する7月22日付けの記事がなく、出典の正確性が不明。

3-6. その他の事実関係

記載内容： 総理指名選挙で白票を投じた（1回目および決選投票）

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料2ページ目、参考資料24に記載。

記載内容： 1回目投票における白票は尾辻氏ただ一人

検証結果： ✓正確

根拠・出典： PDF資料2ページ目に明記。

記載内容：Instagram上で偽アカウント問題に直面
検証結果：✓正確
根拠・出典：PDF資料6ページ目、参考資料35に記載。

4. 記事内で追加された解釈や表現の検証

記載内容：「保守王国・鹿児島」
検証結果：✓正確
根拠・出典：PDF資料1ページ目に記載。一般的な政治用語としても妥当。

記載内容：「異色の戦術」（保守とリベラルの両面アピール）
検証結果：✓正確
根拠・出典：PDF資料2ページ目に記載。選挙戦略の特徴として適切な表現。

記載内容：「ゼネラリスト型の政治家」
検証結果：✓正確（解釈として妥当）
根拠・出典：PDF資料4ページ目の文脈から導出。専門分野が特定されていないことから妥当な表現。

改善提案

修正が必要な箇所

1. 石破茂首相（2025年就任）について
 - 問題点：PDF資料に直接的な記述なし
 - 対応：この記述を削除するか、「2025年時点の首相」といった曖昧な表現に変更
2. 野田佳彦氏が2025年10月の総理指名選挙候補だったことについて
 - 問題点：PDF資料では「立憲民主党の野田佳彦氏」とあるが、時期との整合性が不明確
 - 対応：元資料の表現を忠実に再現し、推測部分は削除
3. 南日本新聞2025年7月22日付けインタビューの引用
 - 問題点：参考資料リストに該当する出典がない
 - 対応：出典を「地元紙のインタビュー」など曖昧な表現に変更するか、該当部分を削除

追加確認が推奨される情報

1. 2025年の最低賃金データ（全国平均時給1,054円）
 - 参考資料38は尾辻氏の選挙記事であり、最低賃金データの一次ソースとしては不適切
 - 厚生労働省など公式データでの確認が必要
2. Xフォロワー数（3,000～4,000人）
 - 「支援者による推計」との記載があり、公式データではない
 - 「推計」であることを明示する表現に変更推奨
3. 石破茂首相の就任時期と消費税に関する発言
 - PDF資料に記載がないため、削除または検証が必要
4. 初質疑の発言文字数

- 「数千字規模」は推定値
- より正確な表現（「持ち時間内で要点を絞った質疑」など）に変更推奨

その他の推奨事項

1. 参考資料番号の整合性

- 記事内のハイパーリンク番号とPDF内の参考資料番号が一致しているか再確認
- 特に参考資料7-20が同一URLを指している可能性があるため要確認

2. 時系列の整合性

- 2025年4月の街頭活動参加は選挙前（7月）のため整合性あり
- 2024年の父の引退表明から2025年7月の当選までの流れは論理的

3. 表現の一貫性

- 「立憲民主党」「立民」の使い分けが混在
- 統一的な表記に修正推奨

総合評価

全体的な正確性：高い（約76%が問題なし）

記事は元のPDF資料の内容を概ね忠実に再現しており、固有名詞や主要な事実関係に大きな誤りは見られません。ただし、以下の点に注意が必要です：

- PDF資料に記載のない情報（石破茂首相の就任、野田佳彦氏の立候補時期など）が含まれている
- 一部の数値データ（最低賃金）の出典が不適切
- 一部の引用（7月22日インタビュー）の出典が確認できない

これらの問題点を修正すれば、より信頼性の高い記事になります。